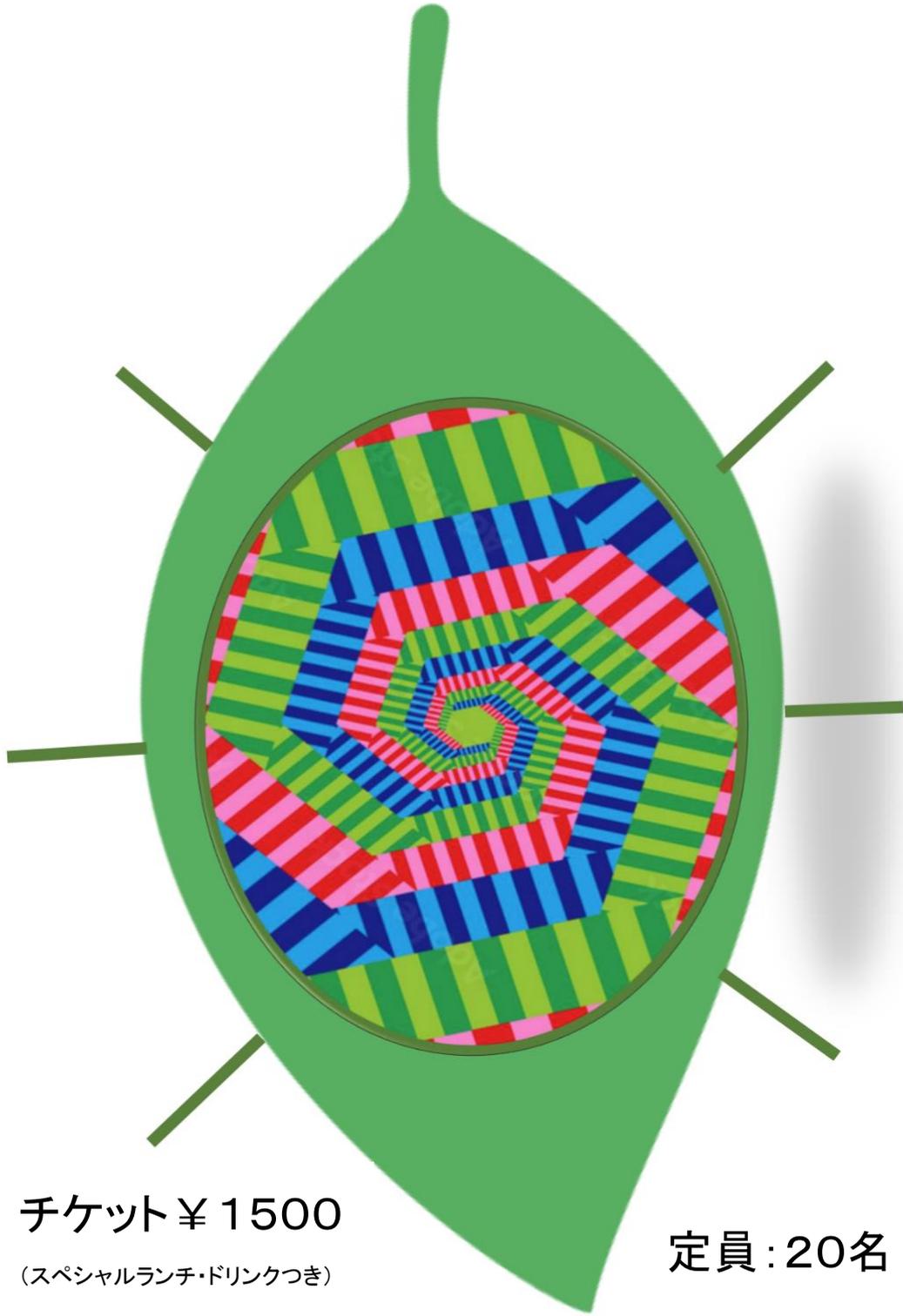


さあ、主体性の奪還だ！！

みーるの文化祭 2023



チケット ¥1500

(スペシャルランチ・ドリンクつき)

定員: 20名

2023. 11. 4 (SAT) 12:00OPEN 12:30START

やさしいごはん みーる食堂



東大阪市足代 3-1-22 TEL:06-6732-3211

主催: 一般社団法人みーる

<https://recovery-mir.net>

ユニバーサル演劇プロジェクト みるみるみるシアター 結成旗揚げ公演

「いきづらさ」の背景には『主体性の喪失』がある。

これは、私のソーシャルワークの経験から感じたことです。

幻聴や妄想に翻弄され、「私」の世界が混乱する。

過去のフラッシュバックが突然現れ、今の「私」が過去に引き戻る。

「私」を守ろうとした解離症状で、何人もの「私」が現れ、本当の「私」がわからなくなる。

発達性トラウマ障害の概念を提唱した精神科医ベッセル・ヴァン・デア・コークは、著書『身体はトラウマを記録する』で、演劇には「主体性の回復」の力があり、トラウマのリハビリワークとして実践をしていると報告しています。みーるでは2018年から増田雄さん、くるみざわしんさんと「私」をテーマにした演劇プロジェクトを企画してきました。その中で何度も芸術の力を感じ、その体験とメンバーとの日々の活動の実践が、今回の「みるみるみーるシアター」結成の原動力となりました。みーるの理念「いきづらさのつながりと共有」を実践し、それを発信することにより、「やさしい社会」の実現を目指します。

一般社団法人みーる 代表理事 山崎 明子

会場

やさしいごはん

みーる食堂



近鉄奈良線・大阪線 布施駅南口より徒歩5分

お申込み方法

 mir-recovery.0701@nifty.com

件名に文化祭参加・内容には氏名とご連絡先の電話番号、

参加人数をご明記ください

☎ 06-6732-3210

「生まれるぞ！」—このチラシの表面の写真(イラスト?)

は緑の葉っぱなのだろうけれど私には瞳に見える。赤と青と緑のラセン階段の渦巻きの奥から何かがやってくる。

声、手、顔、からだ^らが舞台をめざしている。こちら側でじっと待ち、何が生まれるのか確かめてみたい。きっと一生の宝物になるはずだ。

くるみざわしん(劇作家・精神科医/

みーる芸術・医療アドバイザー)



スケジュール

12:00 開場

12:30 開演

上演作品「みーる食堂寓話集」

① ミルメンの音楽隊

② つるさか 鶴酒の恩返し

③ みる島太郎

13:30 演劇終了

～休憩～

14:00 お食事とアフタートーク

15:00 終了

脚本・演出 増田 雄

原案・出演 みるみるみーるシアターメンバー



脚本・演出プロフィール

増田雄 (ますだゆう)。

株式会社マスタシアターコンサルティング代表取締役。MTCproject プロデューサー。演劇コンサルタント、劇作家、演出家、俳優。1987年生。

三重県出身。多摩美術大学映像演劇学科卒業後、一年間イギリスへ留学 2015年、某企業で出会った社員とモンゴルズシアターカンパニーを立ち上げ、

プロデュース・脚本・演出・営業を一手に担う作品受注型の創作メソッド「演劇コンサルティング」を提唱。異業種とのコラボレーションを得意とする活動は様々な分野で大きな反響を生み、演劇の社会進出を進めている。

近年では演劇祭の企画演劇による地域活性化も積極的に行っている。代表作に、『フェイドアウト』(東龍造原作)、アドベンチャーワールドウィインターナイトマリンファンタジー『UNISON』、劇王天下統一大会2015 関西代表作『鼠』、みーる食堂でも公演した一人芝居『私』などがある。

